

当月のS&P MLP 指数の動き

3月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+5.0%と3ヵ月連続での上昇となりました。

米利下げ観測の高まりなどを背景に米国株式が堅調な推移となる中、原油価格の上昇などの支えもあり、MLPは月間を通じて上昇基調となりました。WTI原油先物は、地政学リスクの高まりや需給の引き締めなどを背景に上昇し、2023年10月下旬以来の高値を付けました。

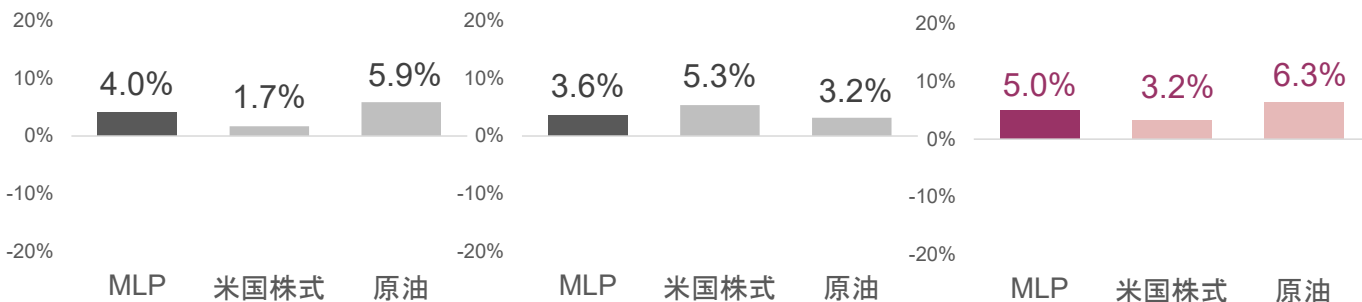
過去3ヵ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

2024年1月

2024年2月

2024年3月



MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3ヵ月前月末	前年末	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比
	2024/3/31	2024/2/29	2023/12/31	2023/12/31			
S&P MLP 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	8,356.02	7,960.14	7,384.81	7,384.81	5.0%	13.2%	13.2%
プライスリターン	1,663.74	1,586.95	1,500.43	1,500.43	4.8%	10.9%	10.9%
S&P 500種 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	11,418.03	11,062.11	10,327.83	10,327.83	3.2%	10.6%	10.6%
プライスリターン	5,254.35	5,096.27	4,769.83	4,769.83	3.1%	10.2%	10.2%
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,614.08	1,459.35	1,419.77	1,419.77	10.6%	13.7%	13.7%
プライスリターン	721.24	653.14	640.05	640.05	10.4%	12.7%	12.7%
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,680.31	1,648.33	1,686.38	1,686.38	1.9%	-0.4%	-0.4%
プライスリターン	334.07	330.15	338.75	338.75	1.2%	-1.4%	-1.4%
米国ハイイールド債 (ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))							
トータルリターン	1,614.33	1,595.32	1,590.32	1,590.32	1.2%	1.5%	1.5%
プライスリターン	68.22	67.78	68.29	68.29	0.6%	-0.1%	-0.1%
米国10年国債利回り							
	4.20%	4.25%	3.88%	3.88%	-0.05	0.32	0.32
原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	83.17	78.26	71.65	71.65	6.3%	16.1%	16.1%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	1.76	1.86	2.51	2.51	-5.2%	-29.9%	-29.9%
米ドル(対円)							
	151.35	149.98	141.04	141.04	0.9%	7.3%	7.3%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

- 1日、米国で発表された2月のISM(供給管理協会)製造業景況指数が47.8と、予想に反して低下した。同指数は50が好・不調の境目。また、同月のミシガン大学消費者信頼感指数確定値も予想に反して3カ月ぶりに低下した。米国株式相場はハイテク株などをけん引役に上昇し、S&P500、ナスダック総合の両指数が最高値を更新した。また、原油先物が上昇し、WTIで一時、1バレル=80米ドル台と、約4カ月ぶりの高値水準となった。
- 3日、OPEC(石油輸出国機構)と非加盟産油国からなるOPECプラスの一部の国が3月末を期限として行なっている原油の自主減産について、6月末まで延長することを決めた。ただし、相場には織り込み済みで、4日の原油先物は売られた。
- 6日、FRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長は利下げについて、年内いずれかの時点で開始するのが適切となる可能性が高いものの、インフレ率が2%に持続的に向かっているとの確信が深まるまで待つとの見解を議会証言で示した。同議長の発言が従来通りの内容だったほか、雇用指標の発表を受け、米国では国債利回りが低下、株式相場はハイテク株などを中心に反発した。原油先物は、米週間統計でガソリンや石油製品の在庫が予想以上に減少したことを受けて買われた。
- 19日、ウクライナによるロシアの石油施設への攻撃により、ロシア産石油製品の供給が減るとの見方などから原油先物が続伸し、WTIが83米ドル台と、2023年10月下旬以来の高値で引けた。
- 20日、FRBは、市場予想通り、5会合連続となる政策金利の据え置きをFOMC(米連邦公開市場委員会)で決定した。会合参加者の利下げ見通し(中央値)は、年内は3回で変わらなかった。一部では、年内の利下げ見通しが2回に減るとの見方があったことから、国債利回りが低下したほか、株式相場は続伸し、米主要3指数が揃って最高値を更新した。

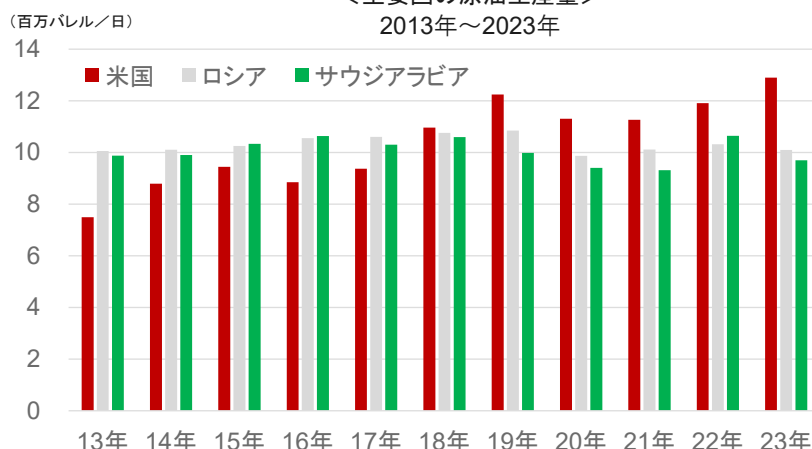
今後の注目点

- 4月から、2024年1-3月期の決算発表シーズンに入る。これに先立ち、MLP各社から発表される分配金の動向に市場の注目が集まる。

米国の原油生産動向

米エネルギー情報局が3月11日に発表した統計によると、米国の原油生産量は過去最高を記録し、6年連続で世界トップとなった。

＜主要国の原油生産量＞
2013年～2023年



＜原油生産量の国別内訳＞
2023年

	国名	生産量 (百万バレル/日)
1	米国	12.9
2	ロシア	10.1
3	サウジアラビア	9.7
4	カナダ	4.6
5	イラク	4.3

出所: 米エネルギー情報局

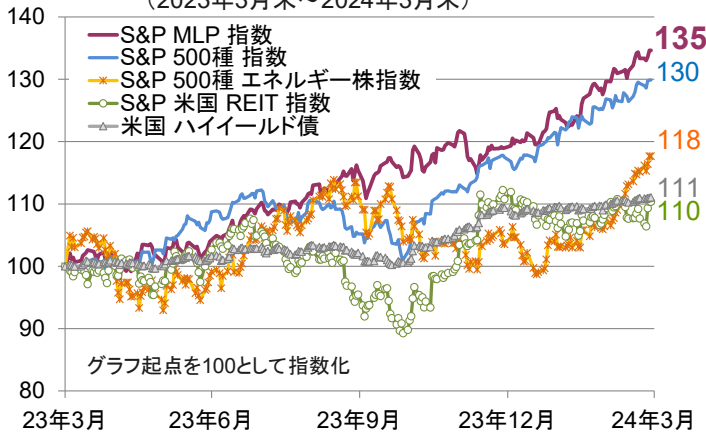
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

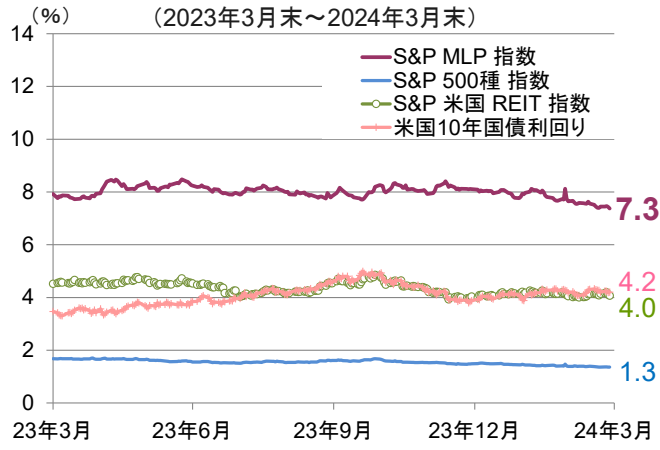
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2023年3月末～2024年3月末)



■過去1年の各資産の利回り

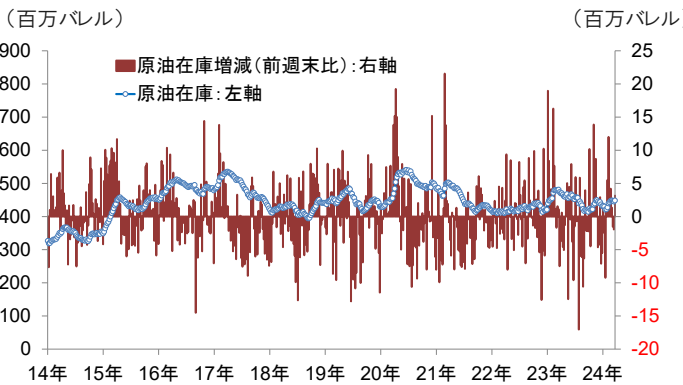
(2023年3月末～2024年3月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

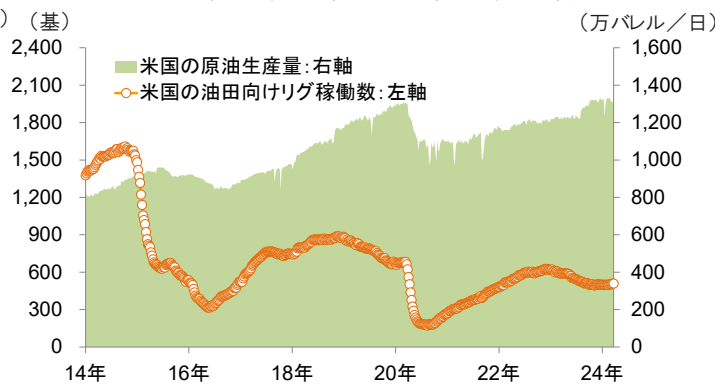
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2024年3月第3週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2024年3月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2024年3月末)



*米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
 ※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。